

3. 川尻地区の町並みづくりの基本方針

川尻地区の町並みづくりにあたっては、河港町・職人町としての歴史や点在する伝統的様式建造物などの特徴を活かし、今を生きる生活の場として、また来街者を迎える心を映し出す町並みづくりと活発なまちづくり活動を連携させるように、川尻地区の「歴史」・「ヒト」・「マチ」を活かす町並みづくりの基本方針としています。

◆町並みづくりの基本方針

視点	基本方針	考え方
歴史	河港町・職人町として栄えてきた川尻の歴史が醸し出す趣のある町並みづくりを目指します。	川に生まれ中世以前に河港町として生まれた川尻地区は、その後の歴史の中で宿場町、職人町、流通の要衝としての役割を担うとともに緑川流域の中心として繁栄して来た変遷を読み取れる様な町並みづくりを目指します。
ヒト	川尻の暮らしに息づく伝統や心地よいもてなしを感じられる町並みづくりを行います。	今も川尻地区の中に息づく伝統的な雰囲気や心地よく肌で感じてもらえるような「もてなしの心」あふれる町並みづくりを行います。
マチ	川尻に残る歴史的資産を活かし、賑わいの中にも落ち着きのある町並みづくりを進めます。	川尻に多く残る史跡や神社仏閣、それに伴う地域の伝統的な行事や活発なまちづくり活動によるイベント等を活かして、マチの賑わいを創出するとともに訪れてホッとするような空間を持った落ち着きのある町並みづくりを進めます。

＜参考＞川尻地区に関わるまちづくり計画等におけるテーマや目標

- 第2次熊本市都市計画マスタープラン（平成21年3月、熊本市）
川尻地区の整備方針：伝統文化を継承する古いまち並みを活かしたまちづくりを進め、生活サービス機能の維持・更新を図る。
- 熊本市南区まちづくりビジョン（平成25年3月、熊本市）
- 熊本市景観計画（平成22年1月、熊本市）
景観形成方針（郊外型居住景観形成ゾーン）：
歴史的資源を生かし、落ち着きを感じられる景観形成を図る。
- 【過去の計画等】
- 川尻まちづくりビジョン（昭和62年3月、熊本県、熊本市、熊本商工会議所）
テーマ：川と遊ぶ「土蔵と匠のまち」川尻
- 熊本市都市景観基本計画（昭和63年3月、熊本市）
- 歴史の息づく郷土景観づくり（平成6年3月、熊本県）
コンセプト：流域交流を促す歴史的町並みの整備
- 川尻観光開発計画（平成6年3月、熊本市）